

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	放課後等学習支援員配置事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/未来を担う子どもたちの育成	担当課	学校教育課
施策①	生きる力を育む学校教育の充実	電話番号	22-8833
施策②	確かな学力の育成	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	平成24年度～令和10年度		
事業の概要			
主に中学3年生の希望者を対象に、放課後等に学習会を開催し、学力の定着と学習意欲の向上を図ろうとするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<p>当市の子どもの学力に関する課題として、諸調査の結果から各教科正答率は下降傾向にあり、「思考・判断・表現」が大きな課題となっている。また中学校でアンダーアチーバーの割合が大きくなり、学年が上がることに増加している。授業の様子からは、分からないとあきらめ、最後まで課題と向き合うことができず、自信がないと活動が進められなかったり、児童生徒同士で考えを深めたり広げたりすることができない状況がみられる。</p>
目的
<p>自分に自信をもち、可能性をひろげ、将来活躍できる人材を育成するとともに、児童生徒の学力の向上を図る。</p>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>市内の団体に委託し実施する。 ①市内中学校5校において、週1回程度16:00～17:30の時間帯で放課後学習教室を開催する。 ②長期休暇や休日、また、小学校高学年を対象に学習会を開催する。</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
3600 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	見直し余地あり
評価結果			
<p>児童生徒の学力向上と放課後の居場所づくりとして定着しつつある事業であることから継続実施されたい。今後は予算の範囲内で実施回数を調整し、事業実績について明確にされたい。</p>			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいしコミュニティスクール推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/未来を担う子どもたちの育成	担当課	学校教育課
施策①	生きる力を育む学校教育の充実	電話番号	22-8833
施策②	豊かな心の育成	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
市内小中学校14校における地域に元気を与えるような活動、当市の風土・伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め郷土への誇りと愛着を育む活動、地域と協働により取り組む活動等に要する経費に対し、交付金を交付し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、「地域とともにある学校」及び「学校を核とした地域づくり」を推進するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>学校・家庭・地域が目標を共有しながら活動することが少なく、地域のつながりが希薄になっていることで、コミュニティの自立的運営が困難になっている。</p> <p>釜石らしさを生かした学びや郷土理解を深める機会が少なくなっていることで、釜石出身者と郷土とのつながりが希薄になり、人口流出・関係人口減少が進行する恐れがある。</p>	
目的	
<p>地域に元気を与えるような取り組み、釜石の風土、伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動、地域と協働により取り組む活動等を通し、釜石に愛着を持つ人材を育成する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>市内小中学校が行う次の事業に対して交付金を交付する。</p> <p>①地域の風土、伝統及び有形無形の財産を活用した事業②ものづくりや鉄の学習に関する事業③全国から支援を受けたことに対する感謝や防災意識を高めるための事業④学校の周囲の方に感謝を込めた地域清掃活動⑤その他の目的を達成するための事業</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1400 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>児童・生徒の地元地域との交流や郷土理解を深めるための貴重な取組であることから継続実施されたい。なお、交付金については各学校によって使用目的や使用方法等に差が生じているため、交付金のあり方及び使用方法等を検討されたい。</p>			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	英検受検料補助事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/未来を担う子どもたちの育成	担当課	学校教育課
施策①	生きる力を育む学校教育の充実	電話番号	0193-22-8833
施策②	国際理解教育の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和10年度		
事業の概要			
英語学習に対する意欲と学力の向上を図るため、文部科学省が後援している英検について、中学生が、英検の3級以上を受検する場合、その受検料を補助するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
英検は学校で受検できるため生徒にとって利用しやすい検定となっているが、英検の受検料は年々高騰している。 (3級：14年度 2,800円→24年度 5,000円)
目的
家庭の経済事情に関わらず、英検を希望しているすべての生徒が受検できる環境をつくり、英語学習に対する意欲を高める。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
文部科学省後援の英検受検料を補助する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
574 千円	574 千円	574 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
事業実施後の英語教育実施状況調査において、実績を挙げており、確かな学力向上が図られていることから引き続き実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	高校生のキャリア構築支援事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/未来を担う子どもたちの育成	担当課	オープンシティ・プロモーション室
施策①	生きる力を育む学校教育の充実	電話番号	0193-27-8463
施策②	小学生から高等学校までの系統的なキャリア教育の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	平成27年度～令和10年度		
事業の概要			
市内高校生が自己探求及び社会の課題解決に向けて主体的に行動できるよう、志を持って活躍する社会人と高校生の対話の場を設け、職業観の醸成を行う「釜石コンパス」を実施する他、総務省の地域おこし協力隊制度を活用した「教育魅力化コーディネーター」を配置し、高校生が地域と関わり、学び合うためのコーディネートを行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
高校生は、自らの進路や将来について「やりたいことが分からない、見つからない」「自分で決断する自信がない」と感じており、また地域や社会のことを学びたいというニーズがあることから、社会課題の解決と高等教育の接続が図られる探求型学習が求められている。 また、進路や将来を考える上で、その相談者が家族や先生と身近な範囲での情報源に依存しており、多様な可能性や考える機会が乏しい。
目的
地域内外に企業やNPO、大学などと連携した、自身のキャリア意識や郷土愛を醸成する教育プログラムの参加を通して、釜石の将来を担う人材を育成する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
県立釜石高等学校、県立釜石商工高校における教育の魅力化に取り組むため、地域おこし協力隊を教育魅力化コーディネーターとして任用、高校に派遣し、地域との接続を促す。 社会人との対話を通して、高校卒業後の進路選択や多様な生き方を学ぶ機会として「釜石コンパス」を開催。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
27382 千円	21111 千円	21111 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
高校生が地域内外で働く大人との対話を通して、キャリア教育や起業家精神を醸成することができ、自ら考え、行動する主体性を育むことができるなど、他の地域にはない学びを提供する場となっている。高校生へのアプローチは継続しつつ、希薄となっている卒業生へのアプローチも併せて行い、継続して若年層との接点をもつことにおいても継続して工夫されたい。「教育魅力化コーディネーター」が行う業務は、市にもたらす効果や有効性を踏まえたうえで実施するよう、調整されたい。			